

2014年(平成26年)10月2日 木曜日

大館市 積内サンフラワープロジェクト



ヒマワリの収穫作業に汗を流すサンフラワープロジェクト実行委員会のメンバーたち=9月3日、大館市積内

博報賞(部教育活性化)受賞

食用油 製作 地域連携の活動評価

児童生徒に対し優れた教育活動を行っている団体・個人に贈る「博報賞」(教育活性化部門)に、大館市の「積内サンフラワープロジェクト実行委員会」が選ばれた。児童教育と地域活性化を同時に進める取り組みが評価され、

受賞者の中で特に奨励に値するとして文部科学大臣奨励賞も受賞した。

プロジェクトは「すべては未来を担う子どものために」をスローガンに、2011年3月に始動。積内地区まちづくり協議会を母体に、積内

内小学校とPTA、地元婦人会、町内会の代表者らで実行委員会をつくり、児童と地域が連携して食用の「ひまわり油」作りに取り組んでいる。受賞の知らせに、今野悠晟君(6年)は「収穫や種取りの作業は大変だったが、頑張りが認められてうれしい」と笑顔を見せた。三浦栄一校長(54)は「活動を通じ、これからも地域の皆さんと顔の見えるお付き合いを深めていきたい」と話した。

博報賞は大手広告代理店・博報堂の関連財団「博報児童教育振興会」が主催。今回は45回目で、13団体3個人が受賞した。本県関係者の文科相奨励賞受賞は3件目。表彰式は11月7日に都内で行われる。(長田雅巳)